

部会委員の考え方（案）

1 部会長

高齢化部会 … 志藤修史 大谷大学 社会学部長・教授
 人口減少部会 … 藤野敦子 京都産業大学 現代社会学部長・教授
 防災部会 … 松岡千代 佛教大学 保健医療技術学部教授
 文化・観光部会 … 河角直美 立命館大学 文学部准教授

2 部会委員（イメージ：参考資料4）

より実効性の高い計画策定に向けて、以下のとおり、構成メンバーを工夫する。

- ・ 「北区未来につながる区民会議（以下、「区民会議」という。）」委員に加えて、地域代表者の推薦により、各学区で積極的に活動されている方にも参画いただく。
- ・ 「区民会議」委員のうち各種団体の方については、参画希望者を募る。
- ・ 各大学の学生さんのほか、「北区民まちづくり提案支援事業」や「北区つながるワークショップ」への参加経験者等にも参画いただく。
- ・ 各部会で北山三学区のテーブルを設けられるよう、北山三学区の方に参画いただく。
- ・ 各部会の委員数は、25～30名程度とする。

（内訳） ※「区民会議」委員

・ 地域代表者（※）	4～5名
・ 北区民まちづくり会議委員（※）	4～5名
・ 各種団体（※）	若干名
・ 各学区で積極的に活動されている方	4～5名
・ 北山三学区の方	2～3名
・ 学生	3名
・ 「北区民まちづくり提案支援事業」活用経験者	2～3名
・ 「北区つながるワークショップ」参加経験者	1～3名
・ その他	1～2名